

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第4回 相模原農業振興地域整備計画検討委員会				
事務局 (担当課)		農政課 電話042-769-9233(直通)				
開催日時		平成30年12月17日(月) 10時00分~12時05分				
開催場所		相模原市民会館 2階 第2中会議室				
出席者	委員	11人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	7人(農政課長ほか)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 農業振興地域整備計画の改定の方針について 資料 (2) 第1回から第3回までの検討委員会について 資料 (3) 改定後の農業振興地域整備計画案(旧市・城山地区)について 資料 ~ 3 質疑応答 4 その他 資料 5 閉会				

審 議 経 過

会議次第のとおり委員長が進行をし、議題について事務局から資料～を基に説明を行った。その後、委員長より、整備内容の改定箇所をまとめたものが資料である旨、改定後の内容を盛り込んだ計画書案が資料である旨を説明し、続けて、質疑応答及び意見交換を行った。

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

2 . 議題及び3 . 質疑応答

(1) 農業振興地域整備計画の改定の方針について

(2) 第1回から第3回までの検討委員会について

(1)(2) とともに、特に質問、意見はなかった。

(3) 改定後の農業振興地域整備計画案 (旧市・城山地区) について

いくつか意見をさせていただきたい。

- ・(水田) 高齢化等により市内の水田も耕作者が減っており、J A で借りて管理することも多くなっている。区画が大きければ機械化しやすくなり、担い手への集積・集約が進むと考えられる。大島から麻溝までの共通課題となっているため、畦畔の除去といったような対策を各地区の計画に入れてほしい。
- ・(基盤整備) 相 A - 1 ~ - 3 の大島から、城 B の相模原インターチェンジの辺りにかけての一带は、他人の農地を通らないと自分の農地に入れられないという状況の農地が多い。道路がないと、あるいは一団になっていないと、相続した方にとっては管理が難しく、また J A が借り上げて担い手に集約する場合も借り手がつかないなど、難しさがある。簡単ではないことは承知しているが、単なる土地改良ではなく基盤整備をしてもらった方が農業振興につながるのだから、是非とも基盤整備を要望させていただきたい。
- ・(集出荷施設) 示された計画案では、集出荷施設の整備について、新規就農者向けのものを整備すると説明があったが、一方で、スーパーへの出荷への対応、G A P への対応などが必要であり、また、横浜線沿線の市街地で都市化が進んだため営農が難しくなった農家が、大沢の方で営農されているという場合がある。これらを踏まえると、この地域に、新規就農者を含むすべての農家が利用できる集出荷、調製、加工施設があると非常に便利になる。特にこの辺りは宅地が近いため、施設に必要となる上下水道も整備しやすいのではないかと。
- ・(直売施設) ベジタペーのような大型直売所が整備済みであるため、直売施設の記載も廃止と示されたが、売り先はいくらあっても困らない。計画としては難しいのかもしれないが、小型、中型でも直売所ができるとありがたい。

- ・(畑作と果樹の混在) A - 4 大沢南部、B - 1 田名西部でも一部で果樹栽培増えたが、畑作と混在していると、農薬の違いから飛散による影響が大きくなったり、樹木があるためトラクターの転回が難しくなったりという課題がある。それぞれが同じ区域で固まっているとそれぞれ営農しやすいのではないか。
- ・(農業用施設)既存施設があるから整備計画の記載を廃止するというような説明があったが、個人の施設であるため、団体で利用できるものとは限らない。団体で利用できるような施設があると良い。

各地区の農道や施設整備について現計画から「整備したから廃止」と説明があったが、表現として「廃止」というと、その施設がなくなってしまうと捉えられてしまう。整備した農道を「廃止」と表現することが正しいのか教えてほしい。

整備済みのものも、維持補修は続けていく想定である。整備する計画としては「廃止」という意味合いである。

整備済みということであれば、「完了」という表現で良いのではないか。

今後修正させていただく。

用排水路の整備については、相模川左岸土地改良区などの団体との調整も必要ではないかと思うが調整が必要かと思うが、計画上は記載し、実際に整備を行うにあたって調整を行うという認識で良いか。

そのように認識していただいて構わない。

灌水施設の整備計画の廃止とのことだが、元々の計画内容はどのようなものか。現計画の具体的な内容については資料がなく把握できていない。

大沢南部と田名西部の整備を行う際に、水がない地域なので整備が必要だということから計画されたものと認識している。大沢南部には一つ井戸ができた。自分の畑に引き入れるのは各個人の負担となるが、その手前までは整備をしてほしい、という内容だったと思う。

例えば今後この計画を作っていくにあたって、灌水施設を作りたいという要望があれば盛り込むことは可能か。どのような手続きとなるか。

可能。その場合は、目的や維持管理費など収支見込み、維持管理をどのように行うかなどの概要を把握させていただくが、それらが地域の要望として出されるのであれば可能。

灌水施設を使う農家が見込めないため計画廃止と説明があったが、あれば使うと思う。灌水施設があると生産性が飛躍的に上がる。相模原市の農地は一つ一つが広くなく、生産性を高めることが大きな課題。費用がかかり難しいのはわかるが、今使っていないから廃止、というのはおかしいのではないか。

大型直売所はできたが、ベジタベーなは相模原市の南の方にあるため、北の方に整備してほしいという声もある。また、津久井地域では直売施設を整備するような別の計画もあるが、10年も先となる可能性があり、今の農家はみんな70歳以上になりなかなか営農を続けていくのが難しい。整備について地域と一緒に考えていけたらいいと思う。

大型直売所ができたからといって、各地域の直売機能をすべて代替できるわけではないので留意してほしい。

新規就農者向けだけでなく他の農家も使えるような、集出荷施設を整備してほしい。特に、温度や湿度も管理できる施設を作ってもらえると農家は助かる。

農道整備は良いが、道幅が広すぎると農家以外の大型車などが駐停車しやすくなり、収穫時に農地に入りにくくなる。整備する際は適切な道幅についても検討してほしい。

相C - 1上溝の地域は、雨が降ると（未整備の）農道に水たまりができ通行が難しい。農業委員会でも地域から要望を何度ももらっている。必ずしも大規模な土地改良が必要なわけではなく、一本、基幹農道があるだけで利用効率はだいぶ上がると思う。

新規就農者の意見を聞くと、集出荷施設がほしいという意見が非常に多い。他の地域から入ってきているため、その地域に定着していくためにはそれなりの支援が必要と考える。

新磯地区は、広く整備された農地が多いが、荒れてしまっている農地も多くなってきている。整備だけではなく、整備後の管理や指導も重要である。農薬を減らすよう努めていても、害虫など周囲の雑草からの影響を受けてしまう。

ワイン用のぶどうなど新たな取り組みが増えているようなので、農業振興として有効か、観光地化が可能か、ワイナリーの増加が見込めるか、今後に期待したい。また、有効であれば、休耕地の有効活用につながると思う。

畜産をやっているので、TPPやEPAの進捗に非常に危機感を持っている。特に豚肉は、和牛と違って輸入物と国産物の味の違いが大きくない。どのように対抗するかということが大きな課題。市内産の農畜産物をどうやって買ってもらうか、それをどうやって支援していくか、ということも重要。この計画ではないか

もしれないが、そういう視点も入っていてほしい。

相模湖の辺りでも、イノシシが表れ始め、その対策への補助も必要。

また、高齢化で畑を管理できる人が減っている。新規就農者も入ってくれており、管理はしてほしいが、求め過ぎてもやってもらえるわけではないのでなかなか難しい。地域の人も含め、自分の畑の管理で精一杯で、他の人の畑の管理まで行うのが難しくなっていると感じる。

この検討委員会の委員だけでは地域の農業者の考えを十分に把握することは難しいと思う。地域の要望をもっと聞いた上で取り組んでほしい。

(委員長)

本日の提案内容では、現計画による整備が終わった、あるいは必要がなくなったため今回の計画案では廃止することになっているものが多かった。

農用地区域ではない農地が開発されていく中で、限られた農用地をどのように守っていくかの計画であると思う。計画策定から10年以上が経過し、整備が終わったから計画がなくなっていく、ということではなく、現状の問題に対し何が必要かの議論が大事であり、新たな問題に対し今後10年何が必要か、という視点で内容を検討してほしい。

内容によっては別の計画である、さがみはら都市農業振興ビジョン2025との使い分けもあると思うので、どちらに記載すべき内容かについても言及した方がよい内容もあると思う。

今回のように委員からあまりに多くの意見・要望が見込まれる場合には、段取りについて改善の余地があるものと思う。

以後、4.その他として、資料 を基に、次回以降のスケジュールについて説明し、閉会した。

以 上

第4回 相模原農業振興地域整備計画検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安西 雄次	畜種農家		出席
2	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部 教授		欠席
3	江藤 啓子	公募委員		出席
4	小林 康史	相模原市農業委員会 委員		出席
5	佐藤 はつ子	あぐりレディース		出席
6	竹本 田持	明治大学農学部 教授	委員長	出席
7	坪井 茂治	望地河原開田事業組合 組合長		出席
8	菱山 喜章	相模原市農業委員会 委員	副委員長	出席
9	山野 和重	津久井郡農業協同組合 専務理事		出席
10	山口 功	相模原市農業協同組合 常務理事		出席
11	吉見 敦司	農事組合法人 つ組		出席
12	若生 ひとみ	公募委員		出席